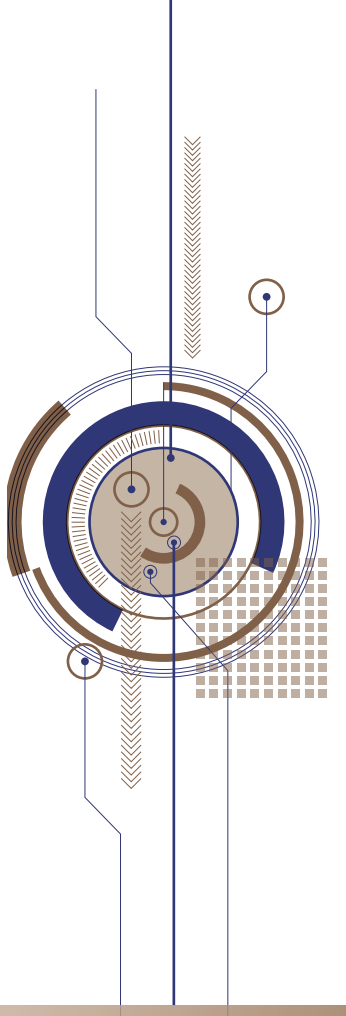


明日をつくる
未来へはこぶ



SINCE 1877

よりよい明日にしたいと、今日、つくり出されるモノがある。
それが広く行きわたることで、未来は真に豊かになれる。
この「つくる」と「はこぶ」の両方を担う稀な存在だからこそ
生み出すことができた独自の価値がカトーレックの強み。
そして世界へ、次のステージへ。更なる成長を展望される
お客様を支え続けるという決意を、この言葉に込めて。

— 経営理念 —

カトーレックは、常に時代の変化に対応し、
お客様のパートナーとして高い志をもち、
信頼され、愛される企業をめざし続けます。

モノを「つくる」と、モノを「はこぶ」を融合した
新たな価値で企業の「課題」を解決するロジロニクス。

お客様の「サプライチェーン」を トータルにサポート。

「ロジスティクス」と「エレクトロニクス」を組み合わせ、
お客様の事業に新しい価値を、次の展開を

「物流」と「モノづくり」を基幹事業とするカトーレックでは2つの事業を一貫して見つけ、
各事業で得た経験やノウハウを活用し合う「ロジロニクス」を推進。これによって生まれる
シナジー効果で、品質・コスト・生産スピード等でより魅力的なEMS*、あるいは管理精度や
信頼性が高く、効率的でスピーディーな物流ソリューションといった独自の価値を提供。
お客様の事業のさらなる発展をサポートし続けています。

*電子機器受託製造サービス (Electronics Manufacturing Service) の略。他企業からエレクトロニクス機器の製造を受託する。

LOGISTICS ELECTRONICS

KIPS (Katolec Innovative Production System)

NPS*思想・手法を生かしたKIPSの推進で、製造から物流までの「整
流化」に取り組んでいます。この継続的な改善活動が、「ロジロニ
クス」としてお客様に新しい価値を提供することに繋がっています。

*New Production Systemの略称でトヨタ生産方式を学ぶことで事業の改善を図る研究会

ロジスティクス事業 [輸送・保管・加工]

LOGISTICS

さらなる改善・効率化で
もっと正確・スピーディーに。

SOLUTION

EMS (電子機器製造受託サービス) 事業 [設計・調達・製造]

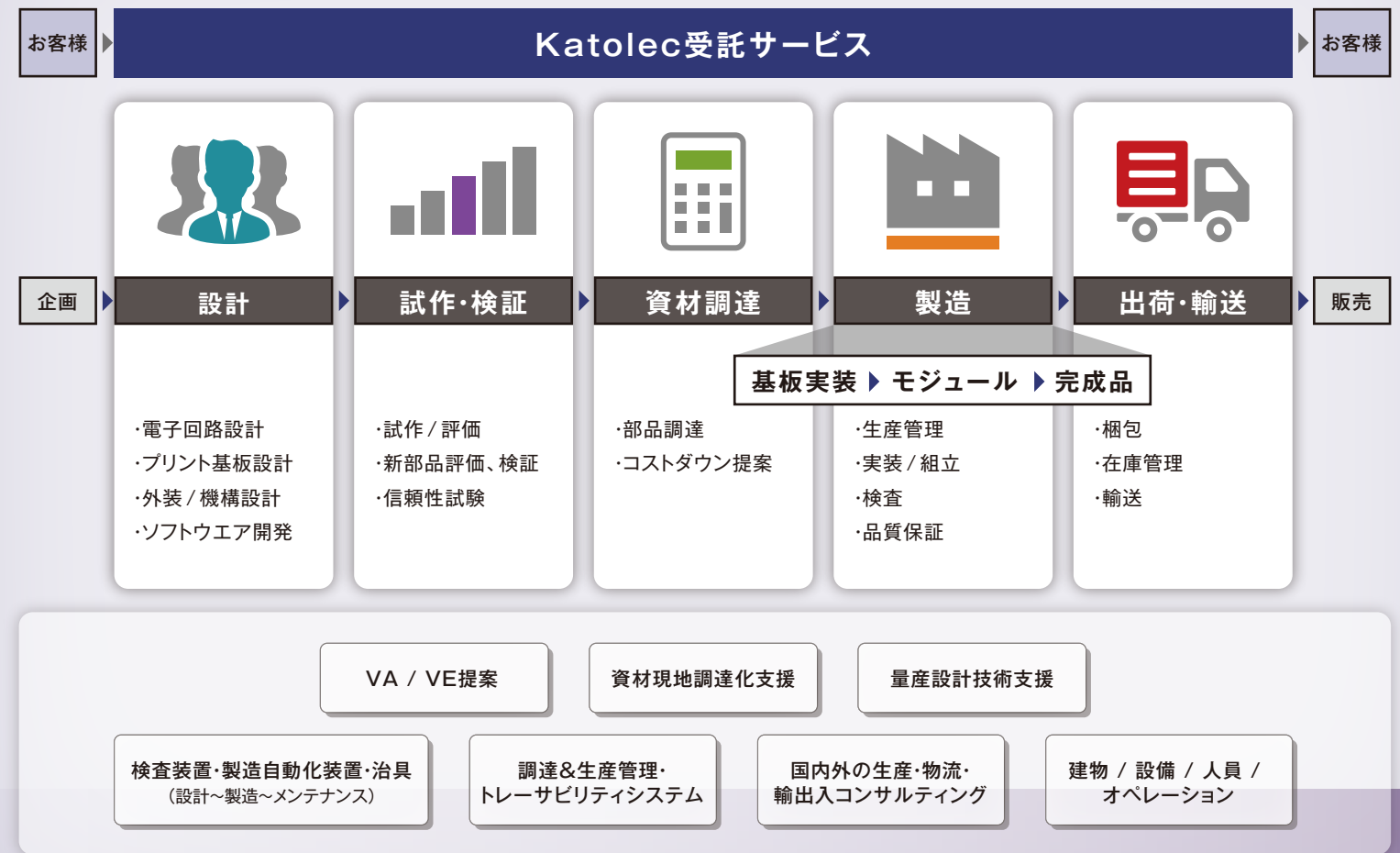
ELECTRONICS

日本で、世界で、魅力的な
製品を確実にお客様のもとへ。

お客様の「つくる」をワンストップサービスで。

ELECTRONICS

お客様は、サービスメニューから任意の組み合わせで選択



EMS (電子機器製造受託サービス) 事業 [設計・調達・製造] 1980年以來、40年以上積み重ねてきた「モノづくり」の経験とノウハウで、お客様のグローバル戦略をサポートします。

EMS* (電子機器製造受託サービス) をグローバルに展開

当社の製造受託サービスは、プリント基板の実装を中心に、電子機器の設計から資材調達、完成品の製造、物流までトータルにサポートします。40年以上続く「モノづくり」のノウハウと、物流と連携した生産工程の改善によって、優れた「Q (品質) D (デリバリー) C (コスト)」を実現。生産・調達拠点をグローバルに提供することでお客様の海外進出を強力にバックアップします。

*Electronics Manufacturing Service

民生機器から車載機器まで

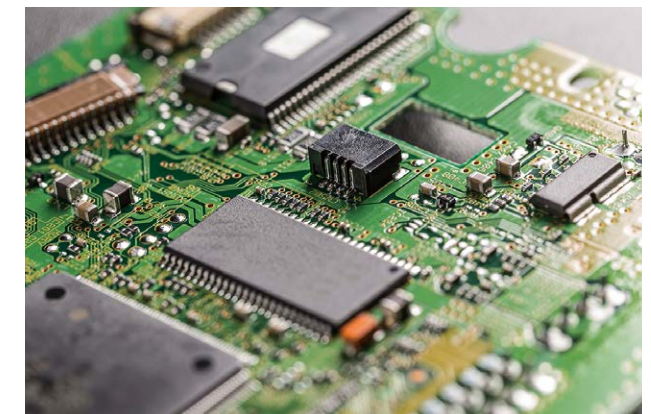
オフィス・家電等の民生機器、通信・住宅・エネルギー等の産業機器、自動車のフロントパネルやテールランプ、スマートキー等の車載機器など幅広い分野でアセンブリサービスを提供しています。基板実装からモジュール品、完成品の製造まで対応可能です。近年は、高品質が認められ、航空宇宙分野にも参入しています。

[生産品目一覧 (基板実装、モジュール品、完成品)]

カトーレックが実装したプリント基板は多様な機器や製品に組み込まれています。



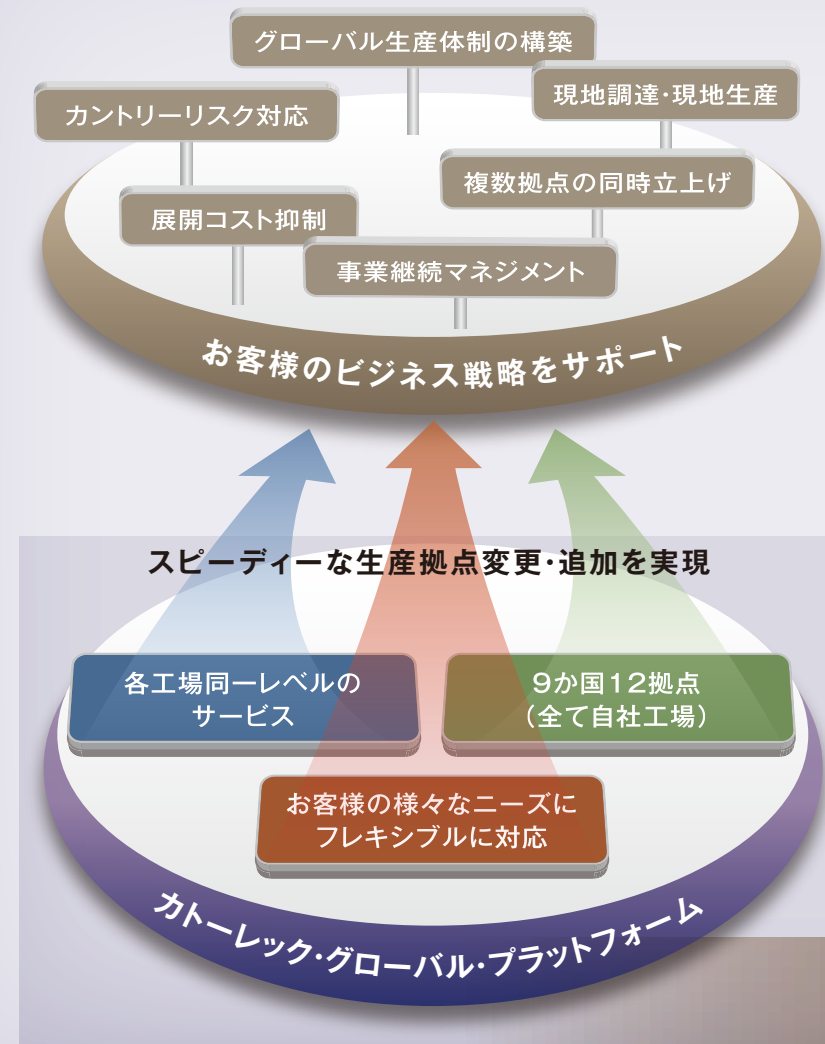
- AV機器**
デジカメ、テレビモニター、オーディオ編集機 (完成品) 等
- 家電製品**
洗濯機、電子レンジ、ミシン、電動自転車、炊飯ジャー 等
- 情報・通信機器**
プリンター (基板実装 / 完成品)、FAX、コピー機 等
- 住宅設備機器**
エアコン、温水洗浄便座、ガス機器、家庭用燃料電池 等
- 産業用機器**
アミューズメント機器、自動販売機、計測器、水中ポンプ、火災報知器、振動センサー 等
- 医療機器**
透析器、CTスキャン、X線検査機、分析機 等
- 航空・宇宙機器**
ロケット



海外展開ニーズに「迅速・高品質」で応える生産拠点。



ELECTRONICS



EMS (電子機器製造受託サービス) 事業 [設計・調達・製造]

グローバルプラットフォームで、調達・生産を最適化

同一レベルの高いサービスを国内外9カ国、12ヶ所の工場を提供しています。事業環境の変化に合わせて、スムーズに生産移管ができ、カントリーリスクなどへの柔軟な対応が可能です。また、各工場での現地調達機能に加え、グローバル調達拠点(日本、香港、マレーシア)が最適な調達をバックアップ。VA/VEによるコストダウンを提案します。

熟練技術者と最新設備で生み出す高品質

電子部品(特にチップ化された小型化部品)をプリント配線板等電子基板上に実装するSMT (Surface Mount Technology) 技術で40年以上の実績をもち、創成期から経験を積んだ熟練の技術者が多数在籍しています。また、最新の設備も充実させ、大手電気メーカーなどから高い評価をいただいています。

[グローバル生産拠点と調達拠点]



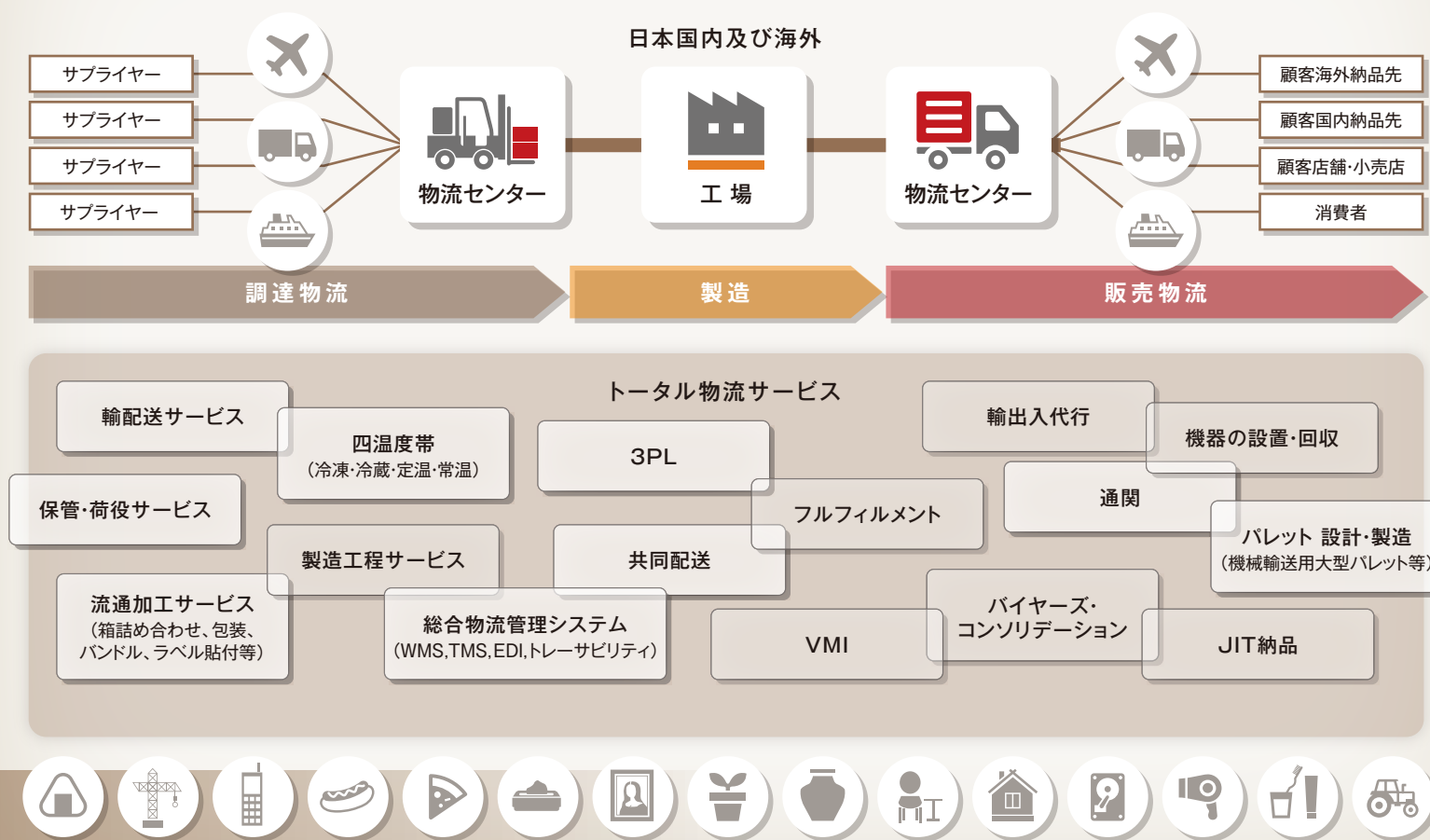
●工場 ●グローバル調達拠点 ●設計・技術

「モノづくり」のノウハウで「モノをはこぶ」をスムーズに。



ロジスティクス事業 [輸送・保管・加工] お客様の製造・販売戦略の最適化を提案します。

カトーレックのトータル物流サービスにはロジロニクスが活かされています。
保管から輸配送まで、すべてをワンストップで。



LOGISTICS

国内も海外も物流業務を最適化して「モノのながれ」をスピードアップ

エレクトロニクス事業で培った管理精度を活かして、物流業務をトータルに改善・効率化し、最適かつスムーズな物流を実現します。全国30カ所の倉庫、50以上の物流拠点、約700台の車両を保有。四温度帯の維持や、精密機器さらには貴重な美術品の安全輸送など、豊富なノウハウを有し、お客様のニーズにお応えできる物流チェーンを構築しています。



機械輸送用大型パレット製造



倉庫内ピッキング作業



大阪支店



高松支店



中部支店



[輸配送拠点と倉庫保有拠点]



仙台支店



本社・美術輸送拠点

グローバル物流を支える[海外物流拠点]

日本と海外拠点が連携して、お客様の調達から輸出入・保管・納品まで、一貫した国際物流サービスを提供します。例えば、複数のサプライヤーから調達した商品を、一つにまとめて日本や海外へ輸出するバイヤーズ・コンソリデーション。海外拠点においても、製造工程の一部を行うサービスやラベル貼等の流通加工、大型機械用のスチール製パレットを設計・製造して供給するなど、幅広い分野でサポートします。



タイ物流拠点



ベトナム物流拠点



香港物流拠点

経営課題と現場ニーズに確かな物流ノウハウを。



ロジスティクス事業 [輸送・保管・加工]

LOGISTICS

物流のトータルソリューションで、
お客様の経営課題を解決 [3PL事業]

お客様の物流業務をトータルに受託する3PL (3rd Party Logistics) 事業を推進。効率的で確かな輸配送はもちろん、流通加工、倉庫での保管、宅配、通関、システム開発など、物流に関わるすべての工程を引き受け、最適なビジネスサポートを提供します。

共同配送をはじめ、独自の物流ノウハウで
お客様の流通戦略をサポート

お客様の生産・販売活動をトータルに検証し、もっとも効率的な物流ルートを設定することで、モノの流れを最適化する改善策を提案しています。例えば、数社の商品をまとめて輸送する共同配送。輸送コストを削減でき、食品や化粧品などで成果を上げています。

倉庫・輸配送管理を一体化 [総物流管理システム]

保管から、輸配送、請求までデータを一元管理し、リアルタイム管理による正確な在庫把握や、自動配車管理を実現。また、荷物の追跡情報も24時間提供可能。現場からムダを排除し、作業品質を向上しています。



美術品輸送30余年のノウハウと実績が紡ぐ安心。



安心して任せられる専門スキルと実績

[美術品輸送・保管]

30余年の実績があり、輸送から展示の設営まで一貫した美術品輸送サービスを提供しています。形状や材質などはもちろん、作られた年代や保存状態など、美術品の輸送や管理に求められる条件は様々です。美術品輸送のエキスパートである「美術品梱包輸送技能取得士*」が的確な方法を見極めて、梱包や開封、車載時の固定を行っております。

*美術品の梱包輸送技術の維持・向上のため、公益財団法人日本博物館協会が試験を実施、認定しています。

専用トラックを独自開発 [美術品専用トラック]

エアサスペンション・温湿度管理装置を備えた美術品専用トラックを保有しています。車両はグループ会社の精密自動車サービス㈱と美術輸送支店が共同開発しており、装備は日々進化しています。

貴重な美術品が安心して滞在できるホテル

[美術品専用倉庫]

東京ベイエリアのカトーレック本社ビル内に、美術品専用倉庫を保有。最適な温湿度管理が可能な個別制御空調システム、カタログ制作時に便利なフォトスタジオ、万全のセキュリティ体制など、充実した環境を整えています。当倉庫は保税地域に指定されており、関税がかからないまま美術品の状態を倉庫内で確認することができます。また、大阪にも美術品倉庫があり、輸送・設営スタッフが常駐しております。

巡回展をワンストップでサポート

[国際輸送ネットワーク]

国際的な美術品輸送組織ICEFATのネットワークにより、美術品を海外から運び入れ、保管・輸送・展示・撤収を繰り返しながら日本国内の展示会場を巡回し、再び海外へ返却します。



美術品輸送の国際組織

ICEFATに加盟しています。

1977年に結成された、世界34カ国76社が加盟する美術品輸送規格水準向上を目的とした国際的な組織です。 ※2018年10月現在



INTERNATIONAL CONVENTION OF EXHIBITION AND FINE ART TRANSPORTERS

地域への感謝をカタチに。 環境への敬意を行動に。

CSR活動の一つとし、「故郷」への恩返しとも考え、創業の地である四国・高松に四国各地から古民家や旧跡を移築し、伝統のくらしと文化を現在に伝える活動を続けています。



公益財団法人四国民家博物館 四国村



数々の賞を獲得した文化財の宝庫

31棟の建物と約1万点の古民具の多くが文化財指定を受け、平成6年のメセナ大賞「地域賞」をはじめ、数々の賞を受賞しています。

世界の美術品を展示したギャラリー

ピカソ、ルノアールなどの美術品を展示した「四国村ギャラリー」も開設。幅広いジャンルの貴重な芸術にふれることができます。



文化事業／環境保全 文化と社会を見つめています。

CULTURE/CSR

「人、社会、環境」の3つの側面で、良き企業市民としての責任を果たしたいと考え、地球環境への負荷を抑える活動にも、全社一丸となって取り組んでいます。

グリーン経営のため各種認証を取得 CO₂排出量の低減へ

環境マネジメントの国際規格「ISO14001」を各拠点で取得。「グリーン経営」認証等も取得しています。



物流の各プロセスを見直し、低燃費車両の導入、省エネ運転技術の習得、梱包資材のリサイクルなどを実施しています。

地球に優しい、モノづくりと物流を

工場や倉庫に、太陽光発電パネルを設置。再生可能エネルギーを活用し、地球環境に配慮した拠点づくりを進めています。



品質管理のため国際規格を取得

品質マネジメントの国際規格「ISO9001」、「ISO14001」、「IATF16949」を各拠点で取得しています。

交通安全への取り組み

安全性向上と法令順守にも努めています。各拠点が公益社団法人全日本トラック協会の「安全性優良事業所」に認定されています。



あらゆる面から環境負荷の削減へ

事業活動の全工程でムダをなくす「整流化」を図ることで、省エネや省資源を推進。世界的な環境規制にも対応しています。

■ 会社概要

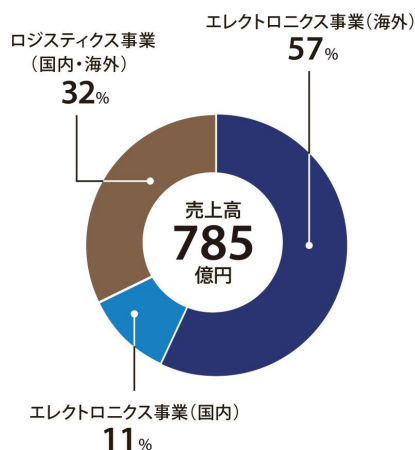
| | |
|------|---|
| 社名 | カトーレック株式会社 |
| 創業 | 1961年(昭和36年)11月2日 |
| 設立 | 1967年(昭和42年)4月1日 |
| 代表者 | 代表取締役社長 加藤英輔 |
| 事業内容 | ロジスティクス事業(運送、倉庫、物流加工) エレクトロニクス事業(電子機器の製造受託サービス) |
| 資本金 | 7,600万円 |
| 従業員数 | グループ合計 7,685名 (2021年3月31日現在) カトーレック(株) 2,152名 国内関連会社 118名 海外関連会社 5,415名 |
| 平均年齢 | 42.2歳 |
| 車両総数 | 710台 |
| 取引銀行 | みずほ銀行、百十四銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行 |
| 関連会社 | カトーレックウエスト株式会社 精密自動車サービス株式会社 株式会社コスモ技研 株式会社プレーメン P.T. KATOLEC INDONESIA KATOLEC PHILIPPINES CORPORATION KATOLEC (THAILAND) Co., LTD. KATOLEC GLOBAL LOGISTICS(THAILAND)CO.,LTD. KATOLEC (HK) Co., LTD. KATOLEC SUZHOU Co., LTD. KATOLEC AUTOMOTIVE SYSTEMS(GUANGZHOU)Co.,Ltd. KATOLEC VIETNAM CORPORATION KATOLEC GLOBAL LOGISTICS VIETNAM CO., LTD. KATOLEC MALAYSIA SDN.BHD. KATOLEC DEVELOPMENT INC. KATOLEC DE BAJA CALIFORNIA, S.A. DE C.V. KATOLEC DE GUANAJUATO, S.A. DE C.V. MINDA KATOLEC ELECTRONICS SERVICES Pvt.Ltd. |
| 文化事業 | 公益財団法人四国民家博物館 |

■ 主な得意先

(株)朝日新聞社、アサヒロジ(株)、味の素ベーカリー(株)、アマゾンジャパン合同会社、(株)あわしま堂、エスピー食品(株)、(株)エバラ物流、F-LINE(株)、エプソングループ、大塚倉庫(株)、オカモト通商(株)、オタフクソース(株)、香川県漁業協同組合連合会、キャノングループ、(株)近鉄エクスプレス、(株)クボタ、クリナップロジスティクス(株)、コイズミ物流(株)、コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)、(株)コクヨロジテム、国立新美術館、国立西洋美術館、(株)サカタのタネ、サントリーロジスティクス(株)、(株)ジェイテクト、GEグループ、敷島製パン(株)、国分西日本(株)、(財)セゾン現代美術館、ダイオーロジスティクス(株)、タカキベーカリー(株)、(株)タイヨー神戸屋、第一屋製パン(株)、テーブルマーク(株)、デンソーグループ、東海理化グループ、東京都現代美術館、東京国立近代美術館、東芝グループ、東拓工業(株)、豊田通商グループ、TOTOグループ、長瀬産業グループ、(株)永谷園、ニコングループ、日清オイリオグループ(株)、日清フーズ(株)、日通NECロジスティクス(株)、日通・NPロジスティクス(株)、日本ハムグループ、日本食研ホールディングス(株)、日本放送協会(NHK)、パイオニアグループ、ハウス物流サービス(株)、パナソニックグループ、ピップ物流株式会社、富士フィルムグループ、ブリヂストン物流(株)、(株)フェリシモ、古河電工グループ、(株)ホンダロジスティクス、(株)毎日新聞社、マルトモ(株)、(株)Mizkan Logitec、(株)三越伊勢丹ビジネスサポート、三菱ケミカル物流(株)、三菱重工業(株)、三菱電機グループ、ユニ・チャーム(株)、読売新聞グループ、YKKAP(株)

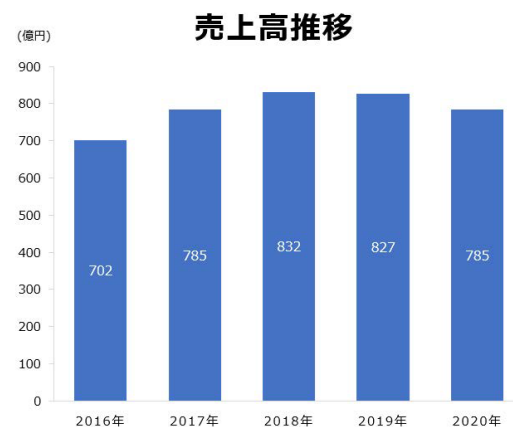
※五十音順、敬称略

■ 売上高推移 (グループ合計)



[2020年度]

注)グループ内売上相殺を考慮



注) グループ内売上相殺を考慮

| | | |
|------------------------|-----|--|
| 1877年(明治10年) | | 香川県高松市で加藤弥太郎が廻漕業を創業 |
| 1914年(大正3年) | | 「合名会社加藤海運商会」(後に「加藤海運株式会社」)に改組、神戸市に兵庫支店を置く |
| 1949年(昭和24年) | | 加藤海運株式会社の旅客部門が分離して「加藤汽船株式会社」となる |
| 1961年(昭和36年) | 11月 | 加藤汽船株式会社が高松~京都間の一般路線貨物自動車運送業の免許を取得(現・カトーレックの創業) |
| 1963年(昭和38年) | | 高松市で大手百貨店の宅配事業を開始 |
| 1965年(昭和40年) | | 東京事務所を開設 愛媛県西条市で大手電機メーカーの輸送を受注し、「福寿運輸株式会社」(現 カトーレックウエスト株式会社)を設立 「四国精密自動車工業」(現 精密自動車サービス株式会社)を設立、グループ会社の自動車整備業を開始 |
| 1967年(昭和42年) | | 加藤汽船株式会社から陸運部が独立、「加藤陸運株式会社」を設立(現・カトーレックの設立) |
| 1976年(昭和51年) | | 「財団法人四国民家博物館」(通称:四国村)設立 |
| 1980年(昭和55年) | | エレクトロニクス事業へ参入、大手電機メーカーの協力会社として電子部品の組立・製造を開始 美術輸送支店を開設、美術品の保管・梱包・輸送・展示などを一貫して手掛ける |
| 1982年(昭和57年) | 10月 | 《EMS部門》松山工場の稼働 《ロジ部門》宅配部門で荷主企業とのオンラインネットワークによる配送管理システムが稼働 |
| 1988年(昭和63年) | | 「財団法人四国民家博物館」が日本建築学会賞を受賞、重要文化財家屋、重要有形文化財を展示 |
| 1992年(平成4年) | | 「加藤陸運株式会社」から「カトーレック株式会社」に社名変更 グループ会社の「福寿運輸株式会社」は、「カトーレックウエスト株式会社」に社名変更 |
| 1993年(平成5年) | 9月 | 東京本社ビル竣工、同ビル内に美術品専用倉庫が完成 |
| | 9月 | 《EMS部門》「カトーレックインドネシア」設立 |
| 1994年(平成6年) | | 財団法人四国民家博物館の運営に関して、メセナ大賞「地域賞」を受賞 |
| 1996年(平成8年) | 6月 | 《EMS部門》「カトーレックフィリピン」設立(マニラ郊外ラグナ) |
| | 7月 | 《EMS部門》「カトーレックタイランド」設立(アユタヤ) |
| 1997年(平成9年) | 4月 | 《EMS部門》電子部品調達を担う「資材センター」を設立 |
| | 6月 | 加藤英輔社長就任 |
| | | 《ロジ部門》首都圏支店若松町新倉庫を竣工 |
| 1999年(平成11年) | 3月 | 《EMS部門》高松工場、新装稼働(香川県) |
| | 3月 | 《EMS部門》「カトーレックメキシコ」設立(メヒカリ) 2002年稼働停止 |
| 2002年(平成14年) | 3月 | 《EMS部門》電子部品の国際購買部門として「カトーレック香港」を設立 |
| | 7月 | 《EMS部門》資材センターを「EMS推進センター」と改称、設計部門を強化 |
| | 12月 | 《EMS部門》「カトーレック深圳工場」稼働(中国) 2013年稼働停止 |
| 2003年(平成15年) | 7月 | 本社を東京都江東区に移転 |
| | 9月 | 《EMS部門》「カトーレック蘇州」設立(江蘇州蘇州園区) |
| 2005年(平成17年) | 10月 | 《EMS部門》「カトーレックベトナム」設立(ハノイ市郊外) |
| 2006年(平成18年) | 7月 | 《EMS部門》「カトーレックチェコ」設立(ビルゼン) ハンガリーにて製造開始、2012年稼働停止 |
| | 8月 | 《EMS部門》「カトーレックバハカリフォルニア」設立(メキシコ・ティファナ) |
| 2007年(平成19年) | 4月 | 《ロジ部門》美術輸送大阪営業所を開設 |
| | 4月 | 《ロジ部門》埼玉営業所を開設 |
| 2008年(平成20年) | 6月 | NPS研究会(トヨタ生産方式を学ぶ異業種の会)に入会 |
| 2009年(平成21年) | 9月 | 《ロジ部門》中部支店開設 新コーポレートスローガン「明日をつくる。未来へはこぶ。」 「ロジエレクトロニクス」を商標登録 |
| 2010年(平成22年) | | 《ロジ部門》市川高谷倉庫を取得 |
| 2011年(平成23年) | 2月 | 《ロジ部門》「カトーレックエンジニアリングタイランド」設立(バンコク郊外) 後に「カトーレックグローバルロジスティクスタイランド」に社名変更 |
| | 4月 | 《EMS部門》鳥取三洋電機子会社の土地建物等を取得し、「カトーレックマレーシア」を設立(ペナン) |
| 2012年(平成24年) | 7月 | 《EMS部門》鳥取三洋電機(広州)有限公司の株式を取得し、「カトーレック広州汽車電子」設立(中国) |
| 2013年(平成25年) | 8月 | 《ロジ部門》「カトーレック香港ロジスティクス部」設立 |
| 2014年(平成26年) | 10月 | 《EMS部門》「カトーレックグアナフアト」を設立(メキシコ中央部・アパソコ) |
| 2015年(平成27年) | 10月 | 《ロジ部門》福岡営業所を開設 |
| 2016年(平成28年) | 1月 | 《EMS部門》「展示会インターネブコン」に初出展 |
| | 3月 | 無人化FAエンジニアリング会社「(株)コスモ技研」を買収 |
| | 10月 | 《ロジ部門》仙台営業所開設(現 仙台支店) 《EMS部門》H3ロケット用基板受注 |
| 2017年(平成29年) | 4月 | 《EMS部門》インド・ミンダグループとの合併会社「Minda Katolec Electoronic Services Private Limited」を設立 プネ工場稼働 |
| 2018年(平成30年) | 8月 | 《ロジ部門》「カトーレックグローバルロジスティクスタイランド」新物流センターが竣工し、移転 《ロジ部門》神戸税関よりAEO認定通関業者の認定取得 |
| | 11月 | 《ロジ部門》「カトーレックグローバルロジスティクスベトナム」設立(ベトナム北部ハナム省) |
| | 12月 | 《ロジ部門》市川塩浜倉庫竣工 |
| 2019年(平成31年) (令和元年) | 4月 | 瀬戸内国際芸術祭2019パートナー、四国村も会場となり作品を展示 |
| | 7月 | 《ロジ部門》岡山県早島物流センター竣工 《EMS部門》ベトナム成形メーカー(2M)と業務提携 |

■カトーレックグループ

| | | |
|-------|--------------------------|-----------------------------------|
| ◎本社 | 〒135-0051 東京都江東区枝川2-8-7 | TEL.03-5683-7000 FAX.03-5683-7010 |
| ◎高松本社 | 〒760-0065 香川県高松市朝日町5-5-1 | TEL.087-822-7000 FAX.087-822-9678 |

■ロジスティクス国内事業所

| | | | |
|--------|-----------|---|------------------|
| ◎東北エリア | 仙台支店 | 〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町1-3-25 | TEL.022-706-4000 |
| | 仙台北営業所 | 〒989-6135 宮城県大崎市古川稲葉字鴻ノ巣68-1 | TEL.0229-88-6330 |
| ◎北陸エリア | 新潟営業所 | 〒949-6545 新潟県南魚沼市長崎818-12 テーブルマーク(株)新潟魚沼工場 第4棟内 | TEL.0257-82-9946 |
| | 富山営業所 | 〒938-0021 富山県黒部市古御堂51-1 | TEL.0765-52-5555 |
| ◎関東エリア | 美術輸送支店 | 〒135-0051 東京都江東区枝川2-8-7 | TEL.03-5632-5555 |
| | 首都圏支店 運送部 | 〒264-0021 千葉県千葉市若葉区若松町711-1 | TEL.043-420-3121 |
| | 配送部 | | TEL.043-424-3000 |
| | 倉庫部 | | TEL.043-424-3011 |
| | 市川営業所 | 〒272-0107 千葉県市川市押切20-3 Sビル2階 | TEL.047-356-5020 |
| | 筑波支店 | 〒300-2401 茨城県つくばみらい市台801 | TEL.0297-52-5033 |
| | 下館営業所 | 〒308-0042 茨城県筑西市みどり町2-1-1 | TEL.0296-22-5220 |
| | 水海道営業所 | 〒303-0042 茨城県常総市坂手町5687-1 | TEL.0297-27-4551 |
| | 筑波西営業所 | 〒304-0822 茨城県下妻市皆葉1176-7 | TEL.0296-43-9485 |
| | 宇都宮支店 | 〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地5-2 | TEL.028-661-6759 |
| | 芳賀営業所 | 〒321-3325 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台157 | TEL.028-677-2728 |
| | 埼玉営業所 | 〒359-0014 埼玉県所沢市亀ヶ谷431 | TEL.04-2945-8210 |
| ◎東海エリア | 静岡営業所 | 〒427-0103 静岡県島田市中河903 | TEL.0547-38-4115 |
| | 中部支店 倉庫部 | 〒511-0844 三重県桑名市福岡町475-2 | TEL.0594-25-9000 |
| | 運送部 | | TEL.0594-25-9001 |
| ◎近畿エリア | 大阪支店 | 〒566-0042 大阪府摂津市東別府1-5-34 | TEL.06-6340-5555 |
| | 美術輸送大阪出張所 | 〒566-0042 大阪府摂津市東別府1-5-34 | TEL.06-6827-0757 |
| | 西神営業所 | 〒651-2271 兵庫県神戸市西区高塚台7-2-1 | TEL.078-996-9870 |
| | 小野営業所 | 〒675-1322 兵庫県小野市匠台19 | TEL.0794-63-8200 |
| ◎中国エリア | 岡山支店 | 〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島2664-1 | TEL.086-480-1510 |
| | 岡山東営業所 | 〒704-8125 岡山県岡山市東区西大寺川口294-7 | TEL.086-944-5160 |
| | 岡山南営業所 | 〒704-8161 岡山県岡山市東区九幡1075-1 | TEL.086-948-9333 |
| | 津山営業所 | 〒709-4331 岡山県勝田郡勝央町植月北401 | TEL.0868-38-7430 |
| | 広島営業所 | 〒733-0832 広島県広島市西区草津港3-2-1 | TEL.082-270-0950 |
| ◎四国エリア | 高松支店 | 〒760-0065 香川県高松市朝日町5-5-1 | TEL.087-851-4334 |
| | 坂出支店 | 〒769-0221 香川県綾歌郡宇多津町吉田4001-83 | TEL.0877-46-2617 |
| | 豊浜支店 | 〒769-1604 香川県観音寺市豊浜町箕浦甲2525 | TEL.0875-52-5457 |
| | 松山支店 | 〒791-0214 愛媛県東温市南野田74-9 | TEL.089-955-5333 |
| | 川内営業所 | 〒791-0301 愛媛県東温市南方2195-1 | TEL.089-955-8151 |
| | 西予営業所 | 〒797-0013 愛媛県西予市宇和町稲生328-1 | TEL.0894-62-6661 |
| | ウエスト東予営業所 | 〒799-1362 愛媛県西条市今在家928-2 | TEL.0898-65-6172 |
| | 東予通関営業部 | 〒799-1362 愛媛県西条市今在家928-2 | TEL.0898-65-4644 |
| | 高知営業所 | 〒783-0052 高知県南国市左右山98-1 | TEL.088-862-1577 |
| | 徳島支店 | 〒771-0205 徳島県板野郡北島町江尻字川中須30-7 | TEL.088-698-9550 |
| | 石井営業所 | 〒779-3223 徳島県名西郡石井町高川原字高川原838-1 | TEL.088-674-4051 |
| ◎九州エリア | 福岡営業所 | 〒838-0056 福岡県朝倉市中原33-10 | TEL.0946-55-0988 |

| | | |
|-----------|------------------------|------------------|
| 東日本配車センター | 〒359-0014 埼玉県所沢市亀ヶ谷431 | TEL.04-2941-3097 |
|-----------|------------------------|------------------|

■ロジスティクス海外事業所

- ◎タイ現地法人(KATOLEC GLOBAL LOGISTICS(THAILAND)Co., LTD.)
Amata City Chonburi I.E.,700/1056 Moo 9,T.Mabpong,A.Phanthong, Chonburi Province,20160,THAILAND
- ◎ベトナム現地法人(KATOLEC GLOBAL LOGISTICS VIETNAM CO., LTD.)
Lot CN07,Dong Van III Supporting Industrial Zone,Dong Van Word,Duy Tien Town,Ha Nam Province,VIETNAM
- ◎香港現地法人(KATOLEC(HK) COMPANY LIMITED)
香港新界葵涌大連排道58-66號 樂聲工業中心13樓
Unit B and C, 13/F, Roxy Industrial Centre, 58-66 Tai Lin Pai Road, Kwai Chung, New Territories, HONG KONG

■ エレクトロニクス国内事業所

| | | | |
|---------------|-----------|--------------------|------------------|
| グローバルEMSセンター | 〒760-0065 | 香川県高松市朝日町5-532-28 | TEL.087-826-8231 |
| 高松工場 | 〒760-0065 | 香川県高松市朝日町5-532-28 | TEL.087-811-0120 |
| 松山工場 | 〒791-0054 | 愛媛県松山市空港通7-15-6 | TEL.089-973-9890 |
| ウエスト徳島工場(事務所) | 〒771-0205 | 徳島県板野郡北島町江尻川中洲30-7 | TEL.088-699-3018 |
| ウエスト徳島工場(勤務地) | 〒771-0213 | 徳島県板野郡松茂町豊久139-32 | |

■ エレクトロニクス海外事業所

◎インドネシア工場(P.T. KATOLEC INDONESIA)

Ejip Industrial Park Plot 8F, Cikarang Selatan Bekasi 17550, Jawa Barat, INDONESIA

◎フィリピン工場(KATOLEC PHILIPPINES CORPORATION)

103 East Main Avenue, Special Export Processing Zone, Laguna Technopark, Binan, Laguna, PHILIPPINES

◎タイ工場(KATOLEC (THAILAND) Co.,LTD)

Nakhon Luang Industrial Estate 115/5 Moo 4, T.Bangprakroo, A.Nakhon Luang, Ayutthaya, THAILAND

◎香港事務所(KATOLEC(HK) COMPANY LIMITED)

香港新界葵涌大連排道58-66號 樂聲工業中心13樓

Unit B and C, 13/F, Roxy Industrial Centre, 58-66 Tai Lin Pai Road, Kwai Chung, New Territories, HONG KONG

◎蘇州工場(KATOLEC SUZHOU COMPANY LIMITED)

江蘇省蘇州工業園區揚東路58號D棟

Bldg., D, No.58, Yang Dong Road, Suzhou Industrial Park, Suzhou, CHINA

◎広州工場(KATOLEC AUTOMOTIVE SYSTEMS (GUANGZHOU) Co., Ltd.)

广州市黄埔区兴达路3号

3 Xingda Road, Huangpu, Guangzhou, Guangdong, CHINA

◎ベトナム工場(KATOLEC VIETNAM CORPORATION)

Lot 41A-B, Quang Minh Industrial Zone, Me Linh District, Hanoi, VIETNAM

◎マレーシア工場(KATOLEC MALAYSIA SDN.BHD.)

150-C, Jalan Kampung Jawa, Bayan Lepas Free Industrial Zone Phase III, Bayan Lepas, Penang, MALAYSIA

◎米国事務所(KATOLEC DEVELOPMENT INC.)

6120 Business Center Ct, Suite F200, San Diego, CA 92154, USA

◎メキシコ・ティファナ工場(KATOLEC DE BAJA CALIFORNIA, S.A. DE C.V.)

Boulevard Insurgentes #19208-5 Colonia Cerro Colorado, C.P.22223 Tijuana, Baja California, MEXICO

◎メキシコ・グアナフアト工場(KATOLEC DE GUANAJUATO, S.A. DE C.V.)

Avenida Miguel Hidalgo 100, Parque Industrial Marabis Abasolo, Abasolo, Guanajuato 36987 Mexico

◎インド工場(MINDA KATOLEC ELECTRONICS SERVICES Pvt. Ltd.)

Gat.No.427/5 & 427/10, Chakan-Talegaon Road, Village.Mahalunge, Tal.Khed, Dist.Pune-410501, Maharashtra, INDIA

■ 精密自動車サービス株式会社

| | | | |
|------|-----------|------------------|------------------|
| 本社工場 | 〒760-0065 | 香川県高松市朝日町4-11-62 | TEL.087-851-0841 |
| 東予工場 | 〒799-1362 | 愛媛県西条市今在家1050 | TEL.0898-65-4540 |
| 筑波工場 | 〒304-0822 | 茨城県下妻市皆葉1176-7 | TEL.0296-43-7133 |

■ 株式会社コスモ技研

| | | | |
|----|-----------|----------------|------------------|
| 本社 | 〒485-0084 | 愛知県小牧市入鹿出新田285 | TEL.0568-71-6571 |
|----|-----------|----------------|------------------|

■ 株式会社ブレーメン

| | | | |
|----|-----------|--------------------------|------------------|
| 本社 | 〒160-0023 | 東京都新宿区西新宿7-5-20 新宿旭ビル402 | TEL.03-3363-2121 |
|----|-----------|--------------------------|------------------|

| | | | |
|---------------|-----------|--------------|------------------|
| 公益財団法人四国民家博物館 | 〒761-0112 | 香川県高松市屋島中町91 | TEL.087-843-3111 |
|---------------|-----------|--------------|------------------|